



師走を直前にしながらも、小春日和に恵まれた11月23日(木)に、実行委員会(PTA役員・おやじの会代表・学校管理職)で令和型の新しい実施方法を模索してきたKOZUSYO フェスタ★2023が賑やかに開催されました。

当日に至るまでには、開催時期を始めとして学校のどこを会場にするのか、開催時間とともに何部制にするのか、参加者の範囲は、飲食の可否についてはどうするのか、各ブースの出展者はどのように決めていくのか等、検討する事項が本当に多くありました。



昨年度までの流れを受けて、中谷PTA会長を始めとする本部役員の皆様が中心となって、各自治会との連携を図ったり、地域各所に相談や説明をしたりして、ご理解をいただけるようにたくさん動いてくださいました。当日までは、ボランティアの皆様が準備を進めると同時に、校内掲示を作り、子ども達の気持ちを高めてくださいました。PTA役員さんも教職員も作業はしていますが、当日販売したり、調理されたりした野菜は、おやじの会さんが中心となって畑で育て、収穫した農作物です。

各ブースでは、たくさんのボランティアさんにもお助けをいただきながら、学校に関係する機関の皆様が、様々な工夫をしながら、子ども達のために本当に楽しい時間をつくってくださいました。

会う子ども、どの子も満面の笑顔で、この日をとっても楽しみにしていて、また、運営に携わる保護者・地域の皆様もまた、子ども達と和やかに過ごしてくださる姿を目にして、何と人と人の繋がりが強く、子ども達を大事にしてくださる地域なのだろうと、改めて感じ入りました。小机の子が、人の気持ちを素直に受け入れたり、人を信じたりすることができる子に伸び伸びと育っていく理由を垣間見れたような気がしました。

26日(日)には、城郷フェスタ2023に、3・4・6年生の代表児童が、オープニングセレモニーとして登場してきました。3・4年生は、総合的な学習の時間の発表を、6年生は、運動会で演技したソーラン節を会場を巻き込んで踊ってきました。練習通り、臆せず堂々と発表できる子ども達の姿は頼もしく、参会の保護者・地域の皆様に小机小の取組について直接お伝えする機会をいただいたことは、今後の活動や引継ぎへのさらなるエネルギーとなったはずです。

11月は、各学年の行事が充実しました。幼稚園での交流を行ったり、地域の施設見学に行ったり、バスを使っての校外学習や遠足も続きました。学級閉鎖の関係で、1ヶ月延期された5年生の愛川宿泊体験学習も、無事に全過程を予定通り実施することができて、本当に良かったと思っています。こうした外での体験は、日常に変化をもたらすとともに、人との関わりや社会の中での自分の振る舞い、集団行動を顧みるよい機会となります。

校内で意識できていないことは、校外でできるはずはありません。日頃、身に付いていない基本的な生活習慣は、一朝一夕に身に付くものでもありません。今後も、多くの人と関わりながら、「~したい」「~する自分になりたい」という自己目標をもち、その実現に向けて努力するたくましい子に育ててほしいと思います。

保護者・地域の皆様におかれましては、各行事へのご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。

